
産業用自動消火装置
「システムアイ プラス」

取扱説明書

このたびは、モリタ宮田工業㈱の自動消火装置を設置していただき、ありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しいご理解とお取り扱いをお願いいたします。
この取扱説明書は、大切に保管してください。

2014年7月1日 改訂

モリタ宮田工業株式会社

～目次～

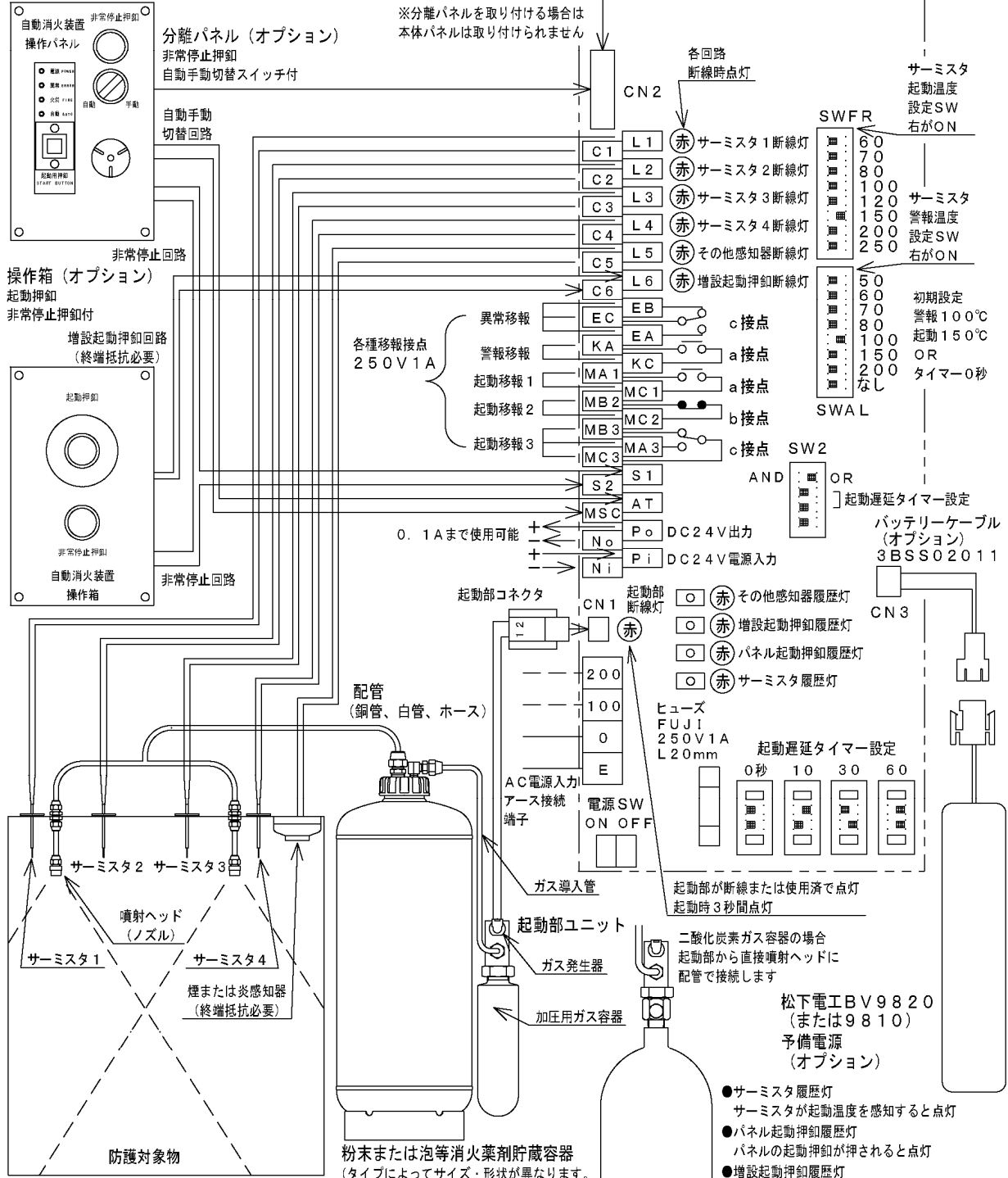
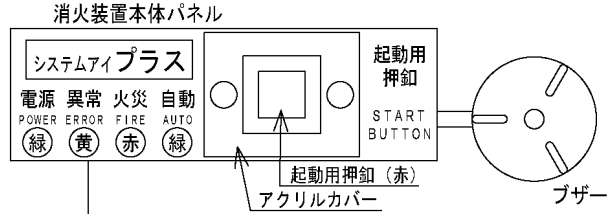
構成	1
接続図(系統図)	2
自動消火装置「システムアイプラス」機器仕様書	3
自動消火装置「システムアイプラス」制御仕様確認書	4
自動消火装置「システムアイプラス」機能概要	5
動作フロー例	6
設置例	7
サーミスタ式感知器について	8
その他感知器について	10
電源、アース、バッテリー、DC24V出力について	11
起動設定、起動遅延タイマーについて	12
分離パネル、非常停止押釦 自動手動切り替え、増設起動押釦について	13
移報、インターロック、ダンパー閉鎖について	15
電気連動の結線方法	16
その他特注仕様について	17
動作確認テスト方法と引き渡しについて	18
点検について	20
アフターサービスについて	21

構成

- 本体：消火薬剤、制御部、パネル、起動部などがパッケージされています。
- 分離パネル：パネル部分を本体から分離したものです。
- 感知器：火災を感知するものです。熱(サーミスタ式、バイメタル式)、炎、煙があります。
- 噴射ヘッド(ノズル)：消火薬剤が放射される部分です。用途によって種類を選択します。
- 配管：本体と噴射ヘッドをつなぐ管です。SGP白管、銅管またはホース等を使用します。

接続図(系統図)

電源灯：点灯＝監視中 消灯＝停電中、非常停止中
 異常灯：点灯＝感知器等断線、起動部断線または使用済、非常停止中
 火災灯：点滅＝警報 点灯：起動（タイマー作動中も点灯）
 自動灯：点灯＝自動 消灯＝手動
 警報ブザー：間欠（ピー…ピー…）＝異常
 断続（ビッピッ）＝警報
 連続（ビー……）＝起動
 ※温度が下がっても復帰せず動作が維持されます



サーミスタ 起動温度設定SW 右がON

60	70	80	100	120	150	200	250
なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし

サーミスタ 警報温度設定SW 右がON

50	60	70	80	100	150	200	なし
初期設定	警報 100℃	起動 150℃	OR	タイマー 0秒			

起動遅延タイマー設定

AND	OR		
0	10	30	60

バッテリーケーブル (オプション) 3BSS02011

起動手部断線灯

- (赤) その他感知器履歴灯
- (赤) 増設起動手部履歴灯
- (赤) パネル起動手部履歴灯
- (赤) サーミスタ履歴灯

起動手部断線灯

起動手部断線または使用済で点灯 起動手時3秒間点灯

起動手遅延タイマー設定

0	10	30	60
---	----	----	----

松下電工BV9820 (または9810) 予備電源 (オプション)

- サーミスタ履歴灯
サーミスタが起動温度を感知すると点灯
 - パネル起動手部履歴灯
パネルの起動手部が押されると点灯
 - 増設起動手部履歴灯
増設起動手部が押されると点灯
 - その他感知器履歴灯
その他感知器が感知すると点灯
- ※点灯すると電源OFF-ONしても消灯しません 消灯するときは各表示灯右の白いリセット紐を押しください

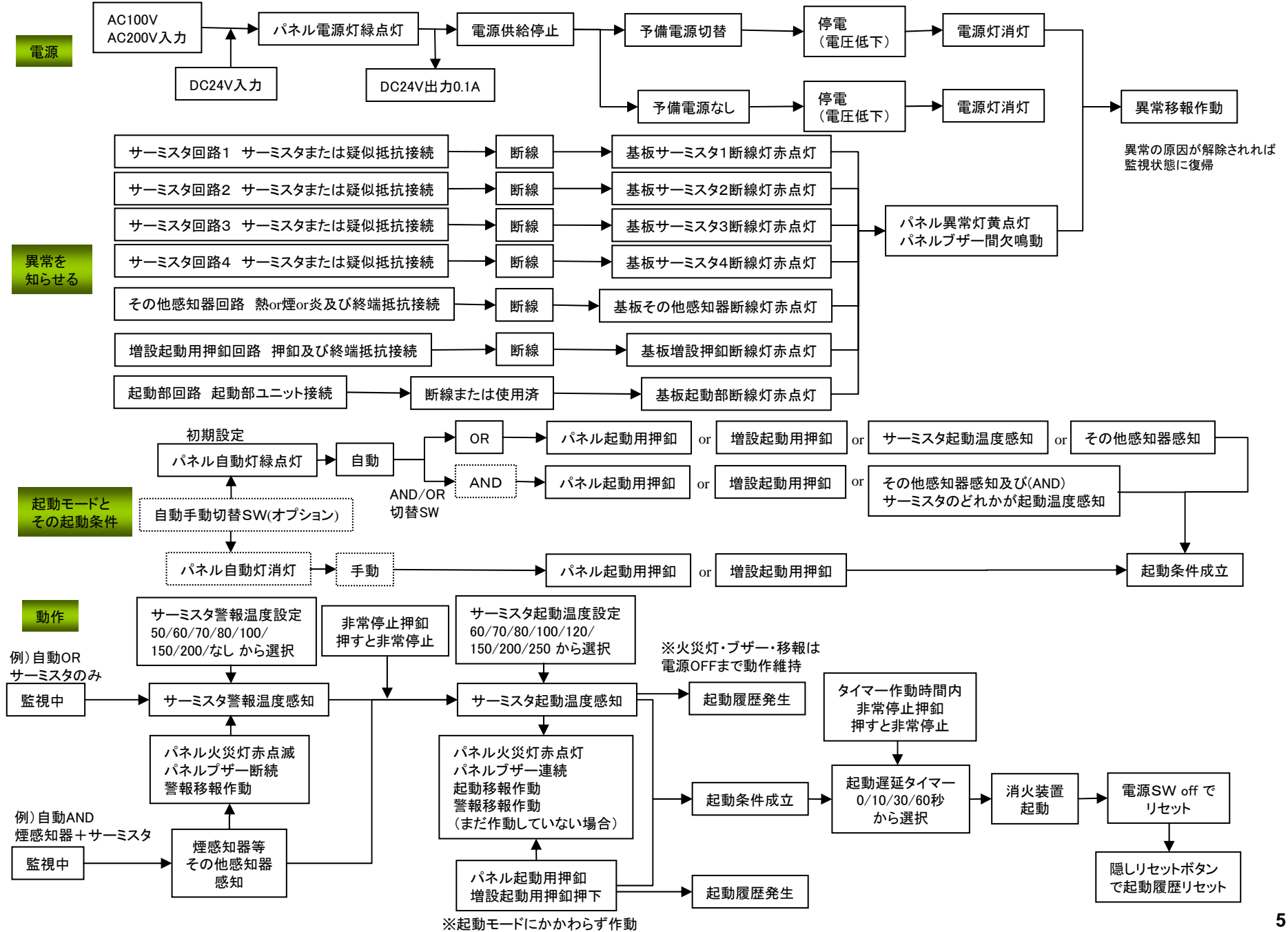
自動消火装置「システムイプラス」 機器仕様書

電源	入力電源	AC100V / 200V (±15%,50Hz/60Hz) / DC24V±10% 消費電力20W以下
	予備電源	オプションで松下電工BV9820(450mA/5HR)を接続すると、AC電源停電時に自動的に切り替わり、監視1時間、起動30分バックアップ(充電、復帰も自動。DC24V入力の際は使用できません)
	出力	電源ONにて容量DC24V, 0.1Aの出力 (リレー、パトライト等の電源) (DC24V入力の際は使用できません)、電源ONにてパネル電源灯点灯(緑LED)
信号入力	サーミスタ式熱感知器	指定サーミスタ4個まで取り付け可能(どれか1つの温度が上がればその温度を認識します。個別温度設定はできません)
		指定サーミスタ品番 : ミヤタCKW4FDSまたはTHMD(混在可)
		警報温度 50°C/60/70/80/100/150/200/なし から選択 (初期設定100°C、ディップスイッチにて切り替え、後で変更可能)
	起動温度 60°C/70/80/100/120/150/200/250 から選択 (初期設定150°C、ディップスイッチにて切り替え、後で変更可能)	
その他感知器	指定火災報知器用煙感知器、炎感知器、5個まで使用可能(1回線)、バイメタル式(接点式)熱感知器は数量限度なし	
	指定煙感知器 : 松下電工BV45368・BV45488 , 指定炎感知器 : 松下電工BV47038	
	バイメタル式熱感知器 : ミヤタCSAD型、フェンノール1種垂直型、1種防爆型	
手動起動	起動用押釦(パネル、増設)は起動設定にかかわらず押すと起動 操作パネル(品番RSOPBOX5またはRSOPBOX6)、または松下電工非常用押釦EK51により増設可能	
起動設定	自動-OR設定	「サーミスタ式熱感知器」が警報温度を感知により警報 「サーミスタ式熱感知器」が起動温度を感知、または「その他感知器」が感知により起動
	自動-AND設定	「サーミスタ式熱感知器」と「その他感知器」のどちらかが感知により警報 「サーミスタ式熱感知器」が起動温度を感知、及び「その他感知器」が感知により起動
	手動設定	感知器の感知で警報 {起動するには起動用押釦(パネル、増設)を押す}
	自動-手動切替	日常切り替える場合、分離パネル(品番RSOPBOX1またはRSOPBOX3)及び分離型本体を使用 (パネル自動灯が点灯で自動、消灯で手動)
	OR-AND切替	初期設定OR、ディップスイッチにて切り替え、後で変更可能
	起動遅延タイマー	0秒/10/30/60から選択、起動条件成立後、薬剤放出のみ遅らせます。(タイマー作動時は非常停止押釦により停止可)(初期設定0秒、ディップスイッチにて切り替え、後で変更可能)
	非常停止押釦	警報時からタイマー作動中までに押せば薬剤放出停止 操作パネル(品番RSOPBOX5またはRSOPBOX7)または分離パネル(品番RSOPBOX1またはRSOPBOX2)及び分離型本体を使用することにより設置、再度押すと復帰
レバー操作による起動	レバー付き消火装置本体を使用(注文生産)	
出力	警報時出力	パネルブザー断続鳴動、パネル火災灯(赤色LED)点滅、警報移報接点作動(a接点)作動
	起動時出力	パネルブザー連続鳴動、パネル火災灯(赤色LED)点灯、起動移報接点作動(a,b,c各1)作動、薬剤放出
	パネルブザー音量	90dB/2m 以上
	移報接点	接点容量250V, 1A
異常	異常条件	サーミスタ断線、その他感知器断線、増設押釦回路断線、起動部断線または使用済み、非常停止押釦ON、停電中
	異常時出力	パネルブザー間欠鳴動、パネル異常灯(黄色LED)点灯、異常移報接点作動(c接点)作動 (停電時はブザー、異常灯は作動しません)

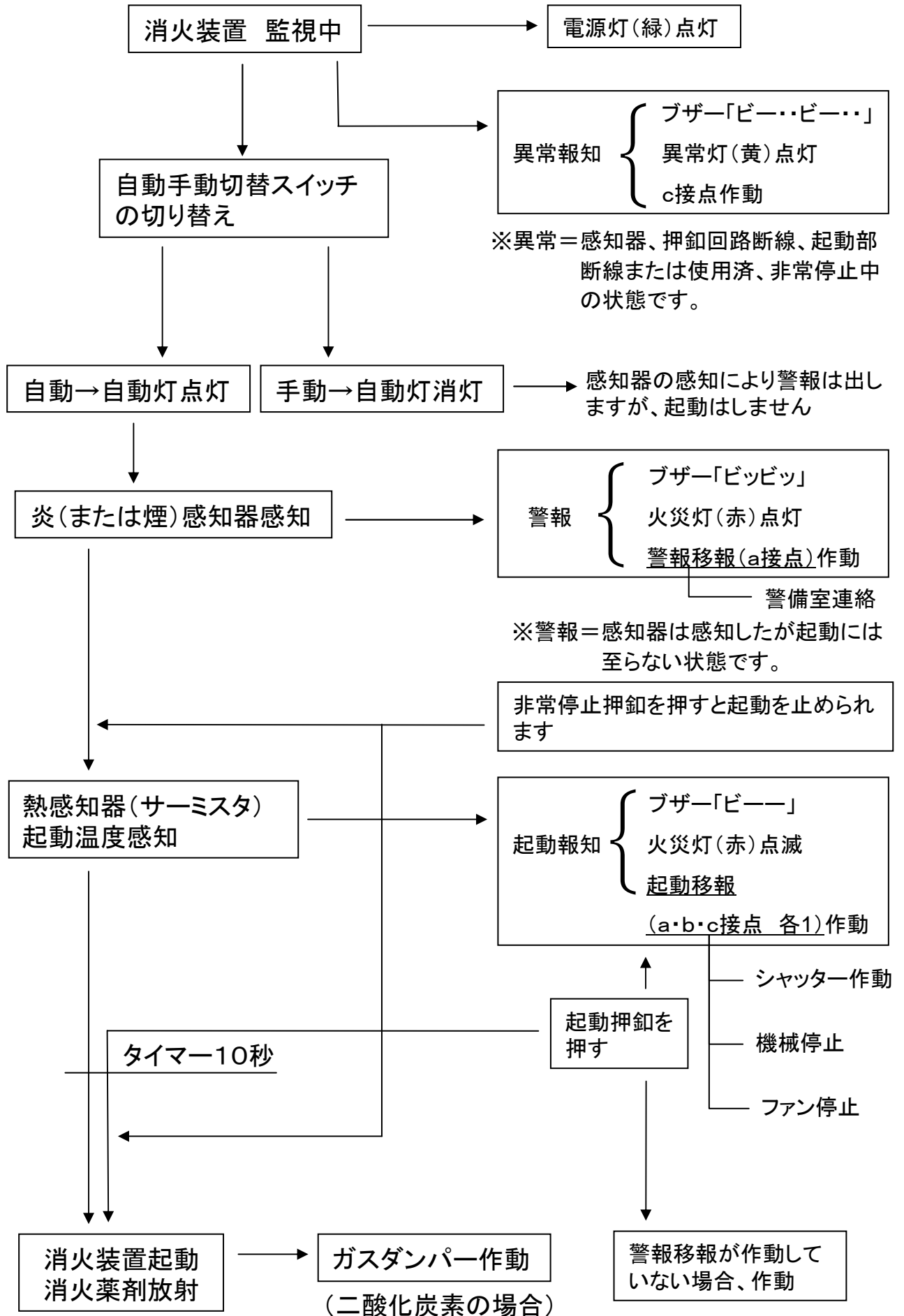
**自動消火装置「システムイプラス」
制御仕様確認書**

物件				
記入日				
項目	No.	選択肢等	説明等	
1	入力電源	1	AC100V	接続端子あり
		2	AC200V	接続端子あり
		3	DC24V	接続端子あり
2	バッテリー	1	不要	
		2	要(1時間監視・30分起動維持)	松下電工BV9820及び中継コネクタが必要
		3	要(起動維持30分以上)	松下電工BV9810等及び中継コネクタが必要
3	手動起動	1	パネルの起動押釦のみ	標準品
		2	増設起動押釦を設置(個)	専用オプションまたは押釦が必要
		3	レバーによる起動(電気なし起動)	特注本体が必要
4	感知器起動	A	熱感知器(サーミスタ式)(個)	警報・起動の2段階温度を検知可能(4個まで使用可能)
		B	熱感知器(バイメタル式)(個)	通常・防爆 _____ °C
		C	炎または煙感知器(個)	指定機種5個まで使用可能
		D	その他の機器	無電圧a接点が必要
		1	Aにより起動	自動設定・OR設定にすること
		2	Bにより起動	自動設定・OR設定にすること
		3	Cにより警報しAにより起動	自動設定・AND設定にすること
		4	押釦のみにより起動	
		5	Aにより警報し押釦により起動	手動設定にすること
6	Bにより警報し押釦により起動	手動設定にすること		
7	Cにより警報し押釦により起動	手動設定にすること		
8	Dにより起動	自動設定・OR設定にすること		
9	D及びAにより起動	自動設定・AND設定にすること		
5	サーミスタ温度	警報	50/60/70/80/100/150/200/なし	これ以外の場合は特注制御部が必要
		起動	60/70/80/100/120/150/200/250	これ以外の場合は特注制御部が必要
6	自動手動	1	自動	配線を変更すれば手動に変更できます
		2	手動	配線を変更すれば自動に変更できます
		3	自動手動を日常的に切り替え	自動手動切替スイッチ付きの専用パネルが必要
7	起動遅延 タイマー	1	0秒	
		2	10秒	
		3	30秒	
		4	60秒	
8	非常停止	1	不要	
		2	要(箇所)	非常停止押釦付きの専用パネルが必要になります
9	移報接点 用途	1	異常移報c接点	に使用
		2	警報移報a接点	に使用
		3	起動移報a接点	に使用
		4	起動移報b接点	に使用
		5	起動移報c接点	に使用
10	本体の配置	1	標準	本体に起動押釦、ブザー、表示灯付き
		2	分離タイプ1(本体・制御部・起動部とパネルを分離)	本体と別に起動押釦、ブザー、表示灯付きのパネルを設ける(自動手動切替スイッチが必要なときは自動灯を確認するためこのタイプになります)
		3	分離タイプ2(本体と制御部・起動部・パネルを分離)	本体を防爆区域に設置しなければならないとき(噴射ヘッドから消火薬剤容器までは基準以上長く出来ないため)
11	その他	(制御に関わるその他要望)		

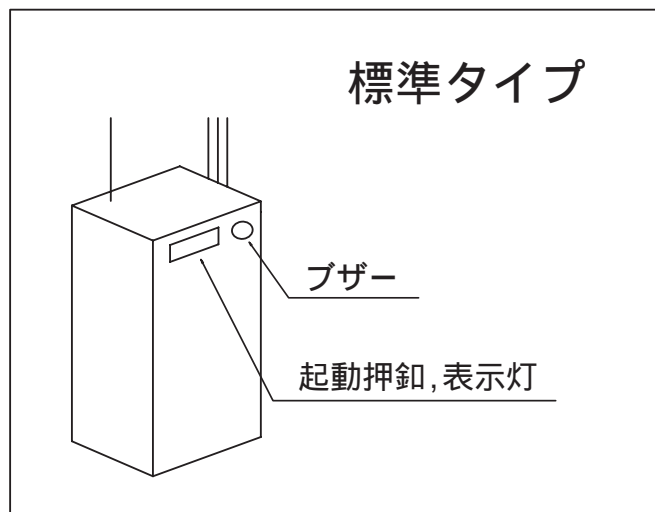
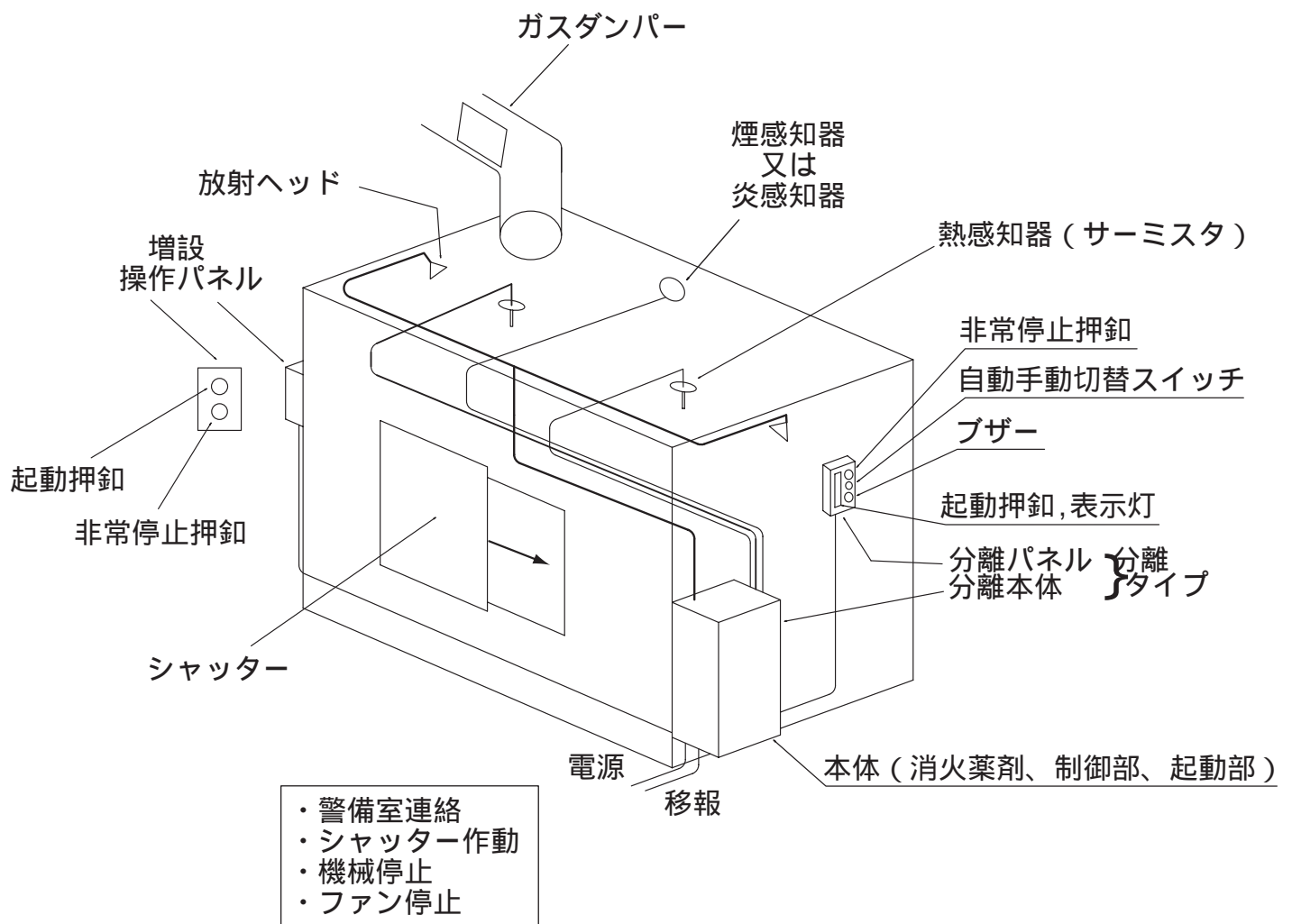
自動消火装置「システムイプラス」機能概要



動作フロー 例



設置例



サーミスタ式熱感知器について

仕様

- サーミスタは、温度により抵抗値が変わります。
例：20℃－61kΩ，100℃－3.3kΩ，250℃－0.13kΩ
この特性を利用して制御部にて温度制御しております。従ってバイメタル式熱感知器のように「80℃の感知器」というものではありません。
- 警報と起動の二段階検知ができます
警報温度 50℃・60・70・80・100・150・200・「なし」から選択
起動温度 60℃・70・80・100・120・150・200・250から選択
- この温度以外で検知する場合は「特注仕様」になります。
- サーミスタは4個まで設置可能です。(5個以上は使用できません)
ただし温度は一括設定です。(個々に温度を変えるときはバイメタルを使用してください)
- 指定サーミスタを使用してください。指定以外のものでは感知温度が違ってしまいます。
サーミスタの温度抵抗特性は種類により様々ですので、専用品以外のサーミスタが使えることはほとんどありません。
- 指定サーミスタ：CKW4FDS型(感知が早い) THMD型(小型、感知が鈍い)
- 熱電対など原理の違う熱感知器が多数ありますが、これらは使用できません。

必要品

- コードCKW4FDSまたはTHMDを、必要数発注してください。
- サーミスタの温度が選択肢以外の場合は特注仕様を発注してください。(基板が受注生産になるので納期、費用がかかります。)
- CKW4FDSは電線が約400mmしかついておりません。別途電線(2芯0.3～0.75mm²より線往復10Ω以下)を用意してください。
- THMDは、電線保護がついておりません。設置する環境により保護チューブ等を用意してください。

接続方法 ※必ず電源OFF、起動部が接続されていないことを確認してから行ってください

例：サーミスタを2個取り付ける場合

- ① L1-C1についている疑似抵抗をはずしてください。
- ② L1-C1にサーミスタを接続してください。(サーミスタ1)
- ③ L2-C2についている疑似抵抗をはずしてください。
- ④ L2-C2にサーミスタを接続してください。(サーミスタ2)
- ⑤ この場合L3-C3,L4-C4の疑似抵抗ははずさないでください。

—注意—

- ※ サーミスタ、または疑似抵抗どちらかがついていないと「断線」となります。
- ※ サーミスタ1が断線しているとサーミスタ1断線灯が点灯し、「異常」がでます。
- ※ 疑似抵抗とサーミスタを一緒につながないでください。1回路にどちらかひとつです。一緒につけると検知温度が変わります。
- ※ 疑似抵抗は100kΩです。その他感知器についている「終端抵抗」は使用しないでください。終端抵抗は10kΩです。

温度設定

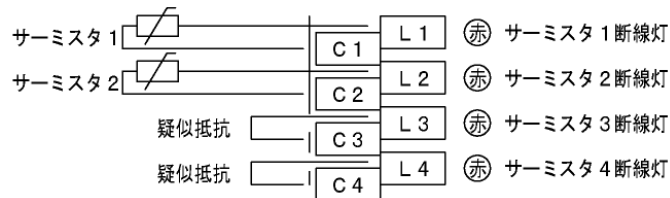
- ※ 必ず電源OFF、起動部が接続されていないことを確認してから行ってください
- ※ 設定変更を行うときは電源OFF、起動部コネクタを抜きこれをダミーコネクタに付け替えたうえでスイッチ操作を行い、その後動作確認テスト(P18)を行ってください。

・警報温度設定

- 初期設定は100℃となっております。
- 別の温度にするときはスイッチ(SWAL)の100をOFF(左)にし、選択した温度のスイッチをON(右)にしてください。
- 必ず一つをONにしてください。2つ以上ONにしないでください。

・起動温度設定

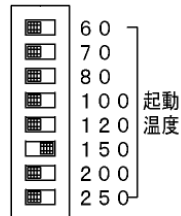
- 初期設定は150℃となっております。
- 別の温度にするときはスイッチ(SWFR)の150をOFF(左)にし、選択した温度のスイッチをON(右)にしてください。
- 必ず一つをONにしてください。2つ以上ONにしないでください。



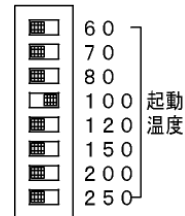
初期設定
警報 100℃
起動 150℃

例
警報 80℃
起動 100℃

SWFR



SWFR



SWAL

SWAL

その他感知器について

仕様

・指定の煙感知器、炎感知器が使えます。

- 指定感知器、個数であれば別途受信機等は必要ありません。
- 指定煙感知器 パナソニック電工BV45368,BV45488(5個まで)
- 指定炎感知器 パナソニック電工BV47038(5個まで)
- 指定以外の火災報知器用感知器を使用する場合はご相談願います。実際に購入し確認する必要があるため費用、時間がかかることがあります。

・バイメタル式熱感知器が使用できます。

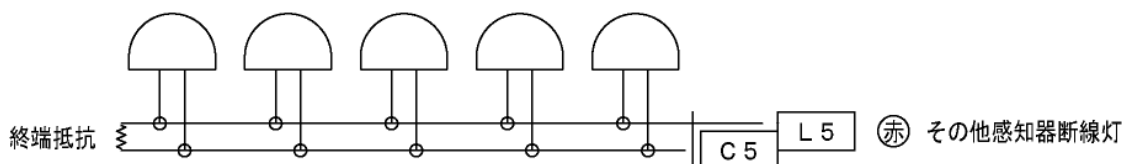
- 取り付け個数に制限はありません。
- ミヤタオリジナルCSAD型感知器が使用できます。(送り配線不要)
- フェンノール製品で感知温度を個別に選べます。
- フェンノール製品で防爆仕様があります。

必要品

- パナソニック電工品、フェンノール製品を必要数発注してください。ミヤタオリジナル感知器はコードCSAD100SまたはCSAD100Lを、必要数発注してください。
- 別途電線(2芯0.3~0.75mm²より線往復50Ω以下)を用意してください。設置する環境により耐熱、耐油、耐可動の電線を選択してください。
- ミヤタオリジナルCSAD型感知器を使用するときは端子台

接続方法 ※必ず電源OFF、起動部が接続されていないことを確認してから行ってください

- 火災報知器と同様に送り配線で接続してください。
- L5-C5についている終端抵抗をはずしてください。
- 先端の感知器に、終端抵抗を取り付けてください。
- 終端抵抗はL5-C5についているものを利用するか、火災報知器用として販売している10kΩ、1/2W以上の固定抵抗を使用してください。
- サーミスタについている疑似抵抗は使用しないでください。(疑似抵抗は100kΩ)
- 終端抵抗がないと「断線」となりその他感知器断線灯が点灯し、「異常」が出ます。
- ミヤタオリジナルCSAD型感知器は、「4芯バイメタル熱感知器結線方法」図のように結線してください。



電源、アース、バッテリー、DC24V出力について

仕様

- 標準品はAC100V、AC200V(±15%, 50Hz/60Hz)、DC24V±10%が使用できます。
- アースは第三種設置工事にて接続してください。アース接続されていることを前提に雷サージ、静電気、ノイズ等の影響を試験しておりますので、アースをしていない場合、雷、感電等の影響が大きくなるおそれがあります。
- AC110V/AC220V仕様など特定の電圧の仕様は「特注仕様」になります。
- 指定バッテリー(パナソニック電工BV9820)を接続すると監視60分、起動30分維持します。更に大容量が必要なときにはパナソニック電工BV9810など大型のバッテリーを用意してください。基本的には常に元電源を遮断しない場合にバッテリーを使用します。
- バッテリーは消火装置の元電源が遮断されるとバックアップを行います。バッテリーが消費されて電圧が低下すると「異常」状態となります。(ブザー間欠鳴動、異常灯点灯、異常移報作動)。20℃のとき、バッテリー電圧約DC16.6V以下で異常、約DC9.1V以下で不作動(ブザー停止)となります。
- 消火装置の電源をOFFにする場合は、元電源を遮断するだけではバッテリーが消費されてしまいます。必ず格納箱内部の制御部の電源SWをOFFにしてください。この場合バッテリーは消費されません。
- 頻繁に消火装置の電源をOFFにする場合は、2a型のサーキットブレーカー(推奨3A)を設置し消火装置元電源及びバッテリー回路をON/OFFするよう接続し、手元操作をしてください。
- DC24V入力の際はバッテリーを使用できません。
- DC24V出力端子があります。0.1Aまで使用できます。(容量以上使用すると消火装置が作動しないおそれがあります。)
- DC24V入力の際は、DC24V出力を使用できません。

必要品

・電源工事

- 電源電線、アース線、他配線部品
- 交流の際は600V,HIV耐熱電線を推奨します。

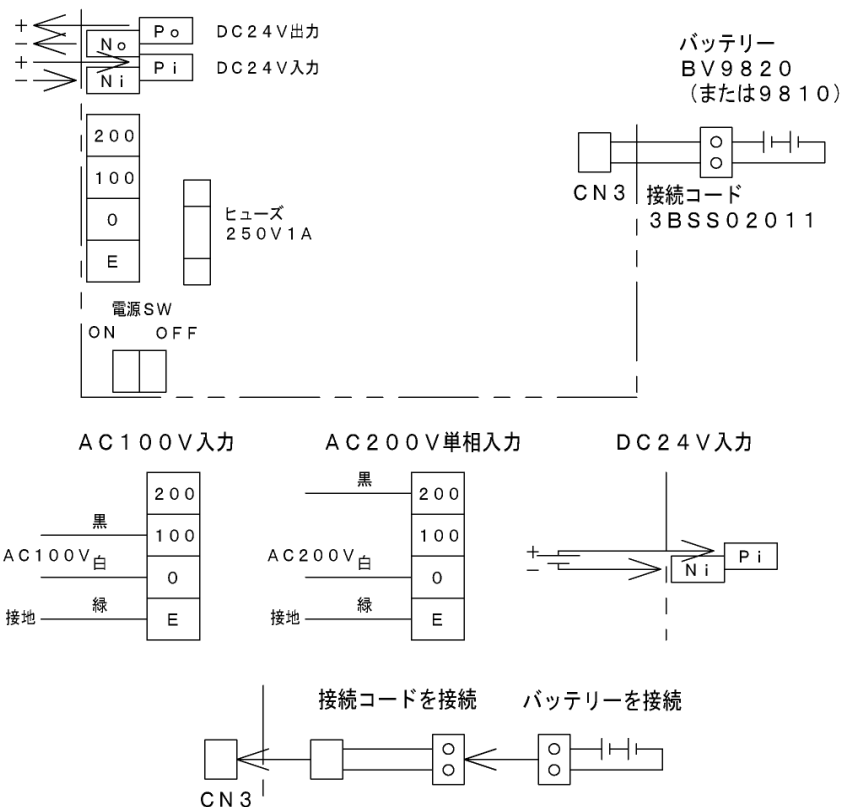
・バッテリー必要なとき

- バッテリー : パナソニック電工BV9820 (またはBV9810) 1個
- 接続コード : ミヤタ 3BSS02011 1個

・電源電圧が違うとき

- AC110V/AC220V等 制御部 : 特注仕様発注

接続方法



起動設定、起動遅延タイマーについて

仕様

・起動設定

- 自動 OR 設定 : どの感知器が感知しても起動する設定
- 自動AND設定 : サーミスタとその他感知器(煙、炎、バイメタル)の両方が感知で起動する設定(例えば炎感知器感知で早期の警報、サーミスタの熱感知で起動する)
- 手動設定 : 感知器では消火装置は起動しない設定(起動押釦により起動します)
- レバー起動 : オプションでレバーをにぎる起動が付加できます。停電時でも作動できます。

・起動遅延タイマー

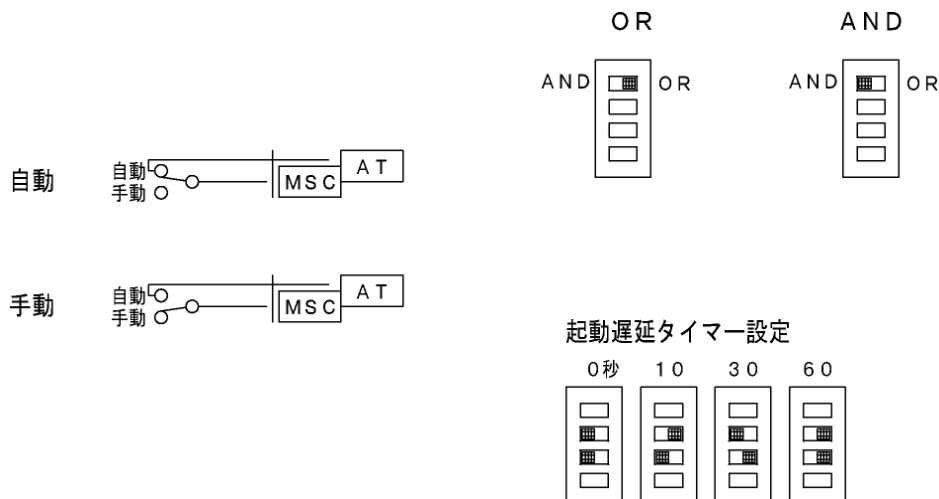
- 起動条件が成立してから消火装置が起動するまでの時間を遅らせる機能です。
- 消火効果を高めるため、シャッターを閉めてから放射するなどの目的で使用します。
- スイッチ設定により0(初期設定)、10, 30, 60秒から選べます。
- 上記以外の遅延時間の場合は特注仕様になります。

必要品

- 起動遅延が設定以外の時間の場合、受注後制御部生産となり納期、費用がかかります。
- レバーをにぎる起動を付加するときは「レバー起動本体」を発注してください。

設定方法 ※必ず電源OFF、起動部が接続されていないことを確認してから行ってください

- 手動にするときはAT-MSCのジャンパー線はずしてください。
- ANDにするときはスイッチ2(SW2)の一番上を左にしてください。(初期設定OR右)
- 起動遅延タイマーを変えるときは、スイッチ2(SW2)の上から2番目3番目を切り替えてください。(初期設定0秒)



分離パネル、非常停止押釦 自動手動切り替え、増設起動押釦について

仕様

・分離パネル

- 消火装置本体とパネルを分離でき、パネルを見やすい、操作しやすい場所に設置できます。

・非常停止押釦

- 起動前(警報状態または起動遅延中)に非常停止釦を押すと消火起動を中止できます。
- 非常停止押釦が押された状態のときは起動押釦を押しても起動しません。
- 非常停止押釦を再度押すと解除されます。(起動遅延タイマーはリセットされる)
- 非常停止中は異常灯点灯、電源灯消灯、ブザー間欠鳴動、異常移報接点作動になります。

・自動手動切り替え

- 昼は手動、夜は自動などの日常的な切り替えができます。
- パネルの自動灯を確認してください。点灯で自動、消灯で手動です。

・増設起動押釦

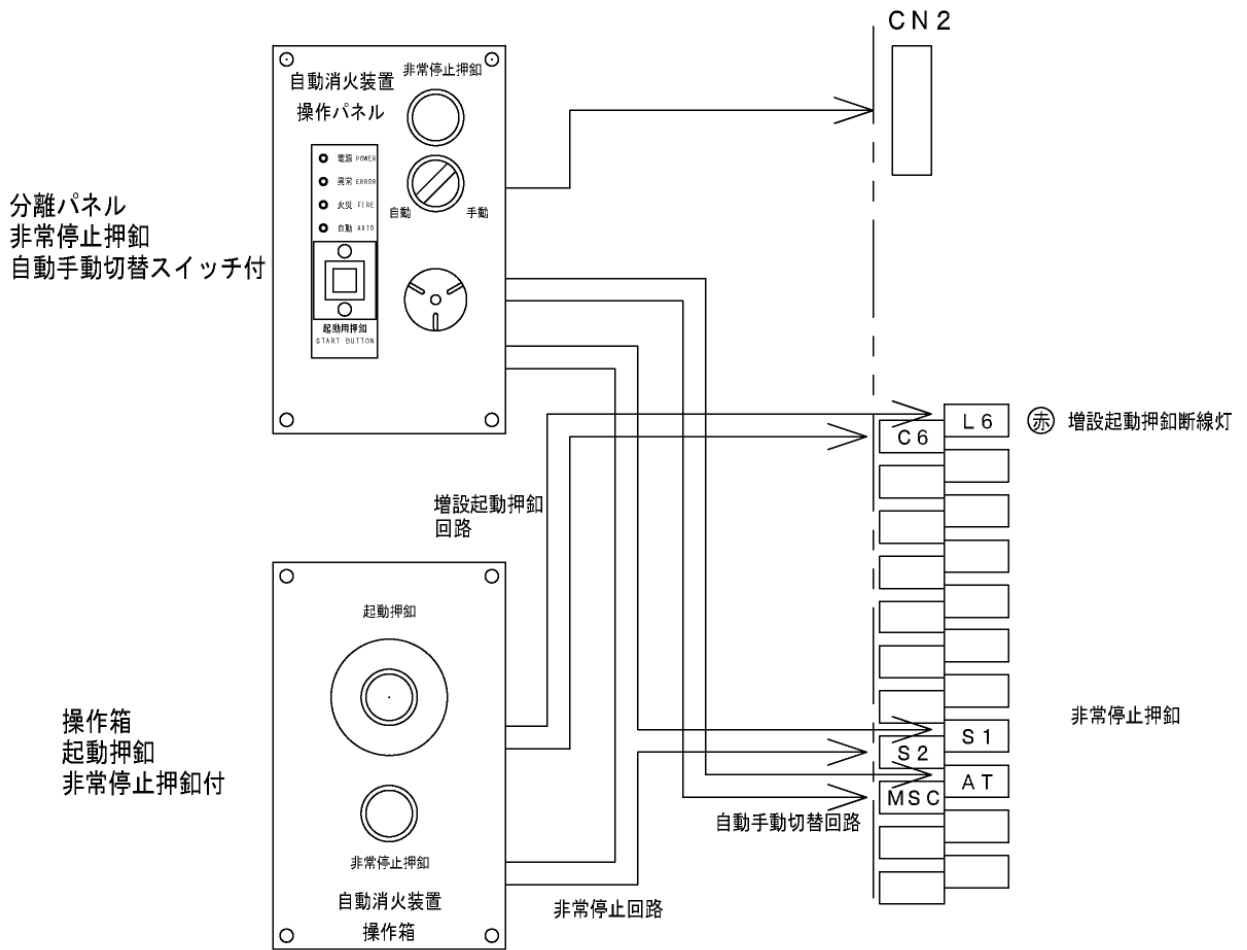
- パネルとは別の位置に起動押釦を取り付けたいときに使用します。

必要品

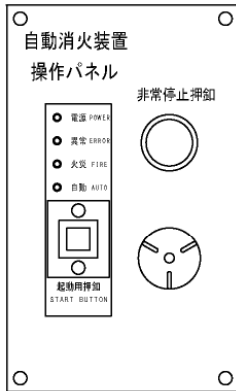
- 分離パネルを発注するとき、本体は必ず「パネルなし本体」を発注してください。
- 自動手動切り替えを行うときは必ず「自動手動切り替え付き分離パネル」を発注してください。
- 非常停止押釦操作箱、増設起動押釦操作箱は標準品でも分離パネル品でも使用できます。

接続方法 ※必ず電源OFF、起動部が接続されていないことを確認してから行ってください

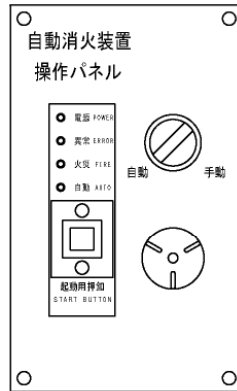
- パネルはコネクタ1 (CN1) に接続してください。
- 自動手動切り替えはAT-MSD間のジャンパー線ははずして接続してください。
- 非常停止押釦はS1-S2間のジャンパー線ははずして接続してください。
- 増設起動押釦はL6-C6についている終端抵抗をはずして接続してください。
- 別途起動押釦を用意する場合は終端抵抗を取り付けてください。終端抵抗はL6-C6についているものを利用するか、火災報知器用として販売している10k Ω 、1/2W以上の固定抵抗を使用してください。
- サーミスタについている疑似抵抗は使用しないでください。(疑似抵抗は100k Ω)
- 回路が断線しているか終端抵抗がないと「断線」となり増設起動押釦断線灯が点灯し、異常が出ます。



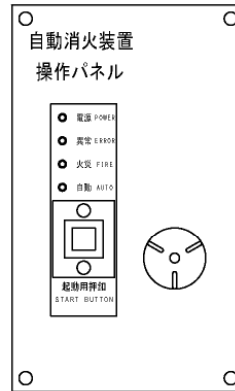
分離パネル
非常停止押釦付



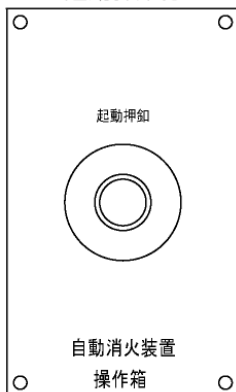
分離パネル
自動手動切替スイッチ付



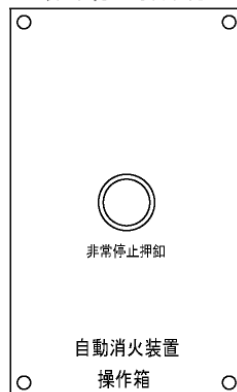
分離パネル



操作箱
起動押釦付



操作箱
非常停止押釦付



移報、インターロック、ダンパー閉鎖について

・異常を知らせる

- 異常＝停電、感知器断線、増設起動押釦断線、起動部断線(または使用済み)、非常停止中の状態をいいます。
- ブザー間欠鳴動(ビーーツ(1.5秒),無音(1.5秒)ビーーツ……)
- パネルの異常灯点灯
- 異常移報接点作動(停電の時はブザー、表示灯は作動しませんので移報接点を使用してください)無電圧c接点×1です。モニター表示、機械停止(インターロック)、パトライト点灯などの信号に使用してください。

・警報

- 火災を消火装置起動前に知らせる機能です。
- ブザー断続鳴動(ビッ、ビッ)
- パネルの火災灯点滅
- 警報移報接点作動、無電圧a接点×1です。警報をとばして起動した場合でも作動します。ガス遮断、警備室連絡などの信号に使用できます。

・消火装置起動を知らせる

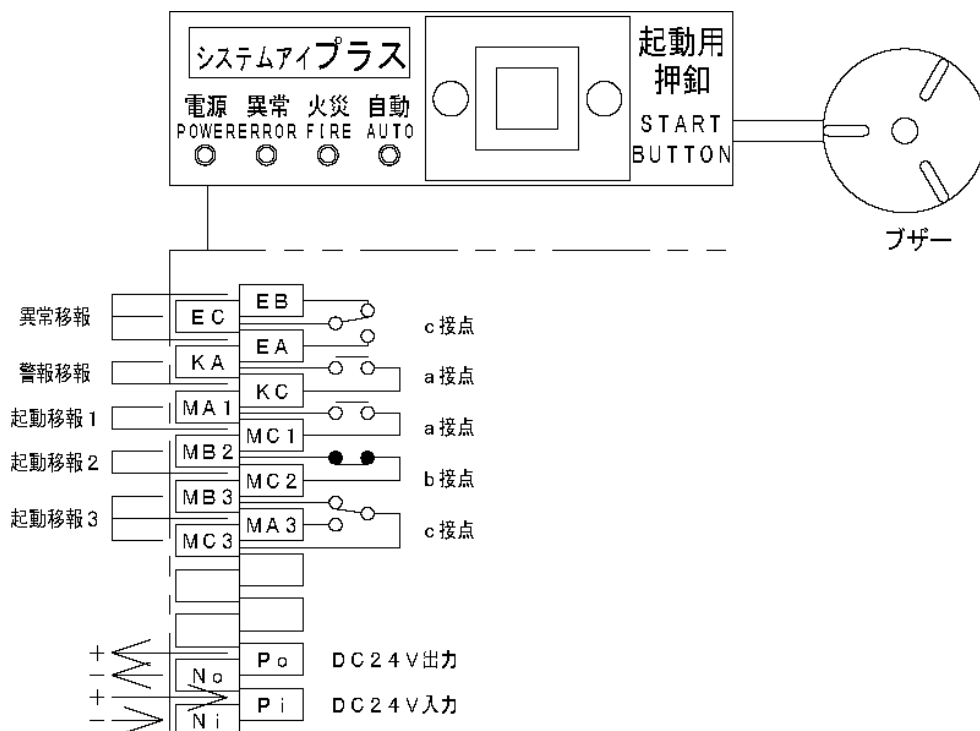
- ブザー連続鳴動(ビーーー)
- パネルの火災灯点灯
- 起動移報接点作動、無電圧a接点×1、b接点×1、c接点×1です。機械停止(インターロック)、ダンパー閉鎖、警備室連絡などの信号に使用してください。

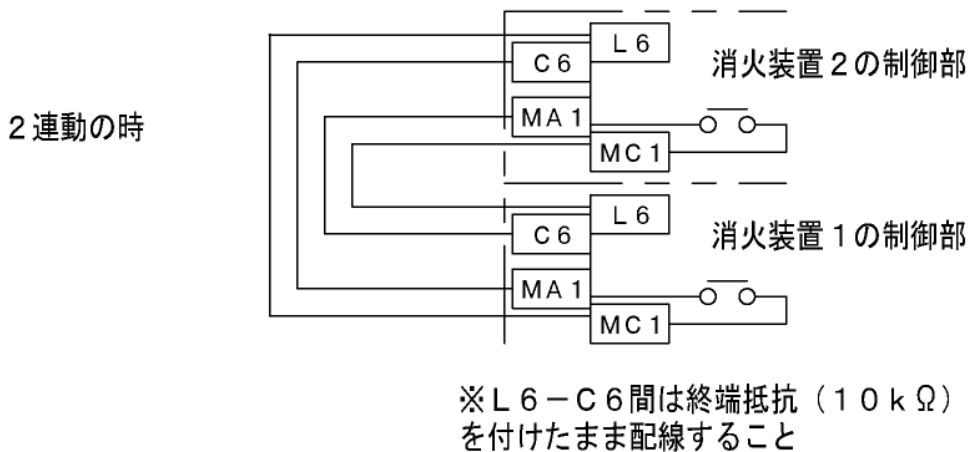
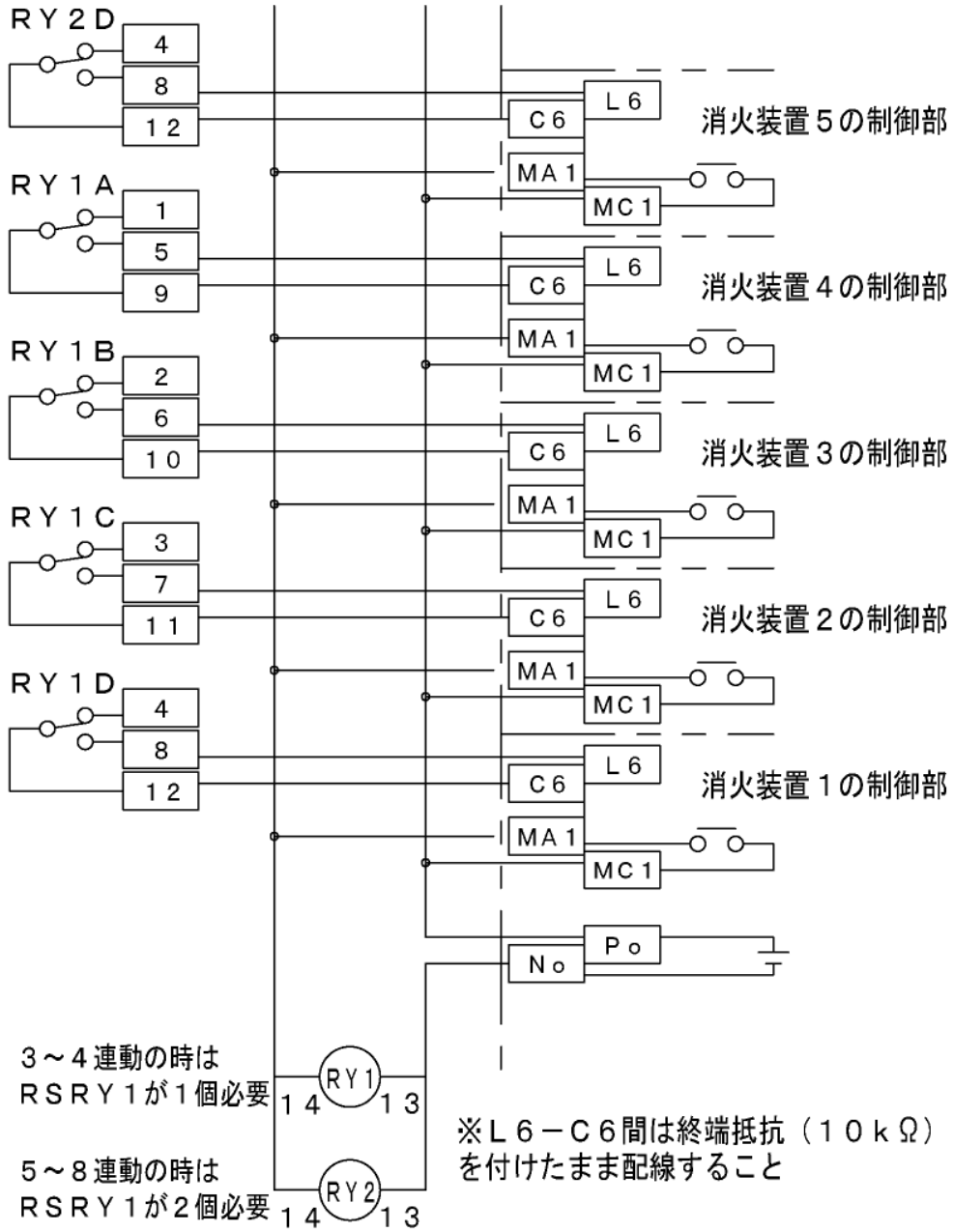
・移報接点について

- 定格(250V,1A)以下で使用してください。
- 接点数、定格を増やすときは増設リレーセット(無電圧c接点×4、定格250V,5A)を使用してください。

・ダンパー閉鎖

- 二酸化炭素の全域消火にダンパー閉鎖が有効です。
- 電気式もありますが、消費電流が大きく別途電源が必要になりますのでガス圧連動式、手動復帰が便利です。(手動復帰の場合は逆止弁、復帰弁が必要ありません)





その他特注仕様について

・防爆

- 感知器：フェンノール防爆バイメタル式熱感知器
- 制御部、起動部を防爆エリア外に出す。防爆制御箱と子機を発注してください。
- 防爆制御箱と子機はガス管で接続。
- 子機は対象物の直近に設置。

・屋外用

- 屋根付き、防塵防水性アップ特注仕様

・耐震用

- 車両用など。容器固定バンド強化の特注仕様。噴射ヘッドも耐震用。

・客先の信号による警報、起動、移報など

- 信号に別途処理が必要な場合や(有電圧信号、微弱信号などリレーやアンプなどの機器が別途必要になります)、消火に対して不向きな場合がありますので、特に注意してください。

・格納箱形状、色

- 筐型取手・蝶番仕様、指定色は特注仕様
- 配管上出し以外も特注仕様

・配管

- ホースセット
- カプラーホースセットは特注仕様

動作確認テスト方法と引き渡しについて

① 準備

CN1に差し込んであるダミーコネクタを抜き、そこに電流計接続コード(部番ST02005)を差し込み、電流計を接続してください。電流計がないときはダミーコネクタをいれたままにしてください。

粉末、泡を加圧する場合、薬剤を放射しないよう、念のため薬剤容器のガス導入部の接続をはずしてください。次に制御部のカバーをはずしてください。

② 制御仕様確認書等によりAND/OR設定、起動遅延タイマー設定、サーミスタ温度設定を確認してください。初期設定はOR、遅延なし、警報100℃起動150℃です。

③ 下記警報条件になるよう感知器を加熱(または煙、炎を用いて)し、各出力を確認してください。

警報条件

1. サーミスタ感知器が警報温度を感知したとき
2. AND設定でどれか一つの感知器が感知したとき

警報時出力

- A. パネル火災灯点滅
- B. ブザー断続鳴動
- C. 警報移報接点作動(接続機器動作)

④ 下記起動条件になるよう押釦を押す、感知器を加熱(または煙、炎を用いて)することにより、各出力を確認してください。

起動条件

1. パネル起動用押釦を押したとき
2. 増設起動用押釦を押したとき
3. OR設定でサーミスタ感知器が起動温度を感知したとき
4. OR設定でその他感知器が感知したとき
5. AND設定でサーミスタ感知器及びその他感知器が感知したとき

起動時出力

- A. パネル火災灯点灯
- B. ブザー連続鳴動
- C. 起動移報接点作動(接続機器の動作)
- D. 起動電流出力

電流計を接続している場合は電流値が約4mAから約23mAに変化することを確認してください。ダミーコネクタを取り付けているときは、起動部断線灯が約3秒間点灯することを確認してください。

確認後は電源スイッチをOFFにし再びONにしてください。

⑤ すべての感知器について設定書の動作を確認してください。

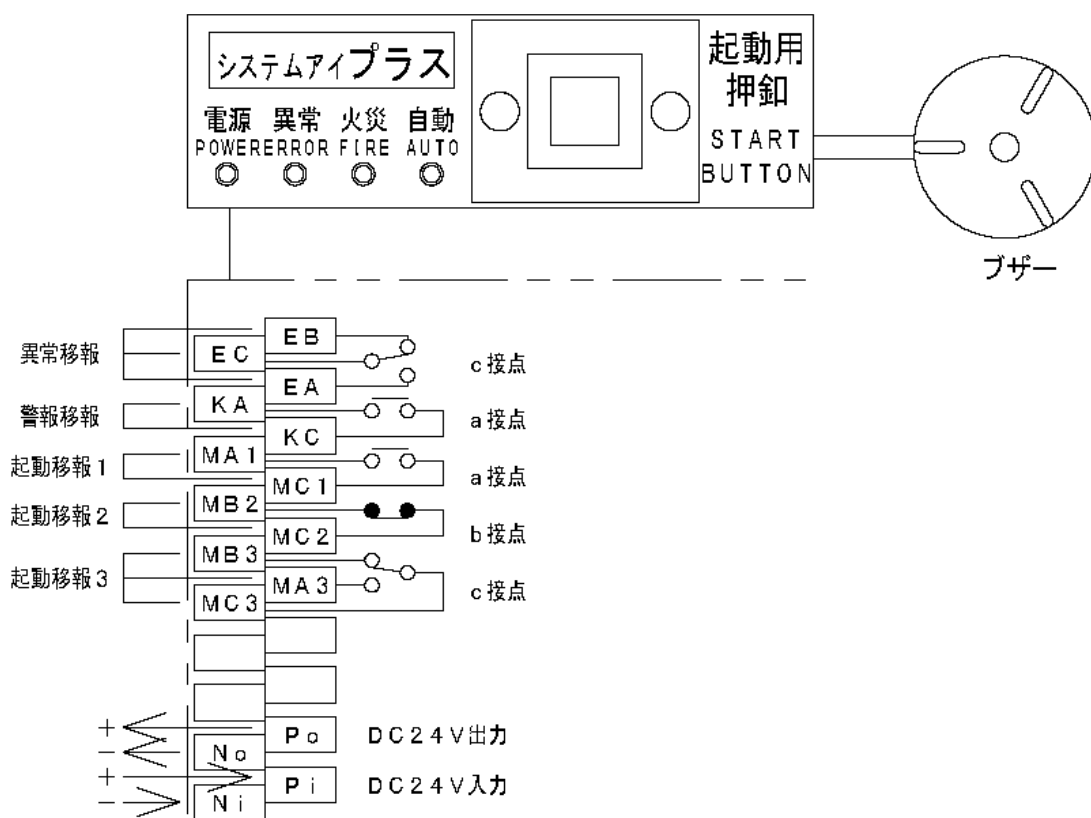
⑥ 確認後電源ONの状態では起動履歴灯をその左側の履歴消去釦を押して消してください。(消さないと実際起動したときの履歴がわからなくなってしまう。)

⑦ 制御部カバーを取り付けてください。

- ⑧ A. 電源灯、自動灯(手動設定の時は消灯)のみ点灯
 B. 他の表示灯がすべて消灯
 C. ブザー停止
 D. CN1に電流計を接続している場合は電流値が約4mA

であることを確認してから、電流計またはダミーコネクタをはずし起動部コネクタに付け替えてください。はずしている間は異常のためのブザーが鳴るので手早く付け替えてください。薬剤容器のガス導入部の接続をはずした場合元のように接続してください。この状態で消火装置が監視中ですので引き渡しを行ってください。

- ※ 起動部(ガス発生器付)は一度しか使用できません。
 ※ ダミーコネクタは後で使用する場合がありますので箱内等に保管してください。



点検について

● 始業時に下記の日常点検をおこなってください。

点検箇所	正常	異常
電源灯	緑色点灯	消灯
異常灯	消灯	黄色点灯
火災灯	消灯	点滅、点灯
自動灯	点灯	消灯(手動で使用しているときは正常)
手動起動押釦	異常なし	アクリルカバー破損
ブザー	消音	鳴動
消火装置本体、感知器、電線、噴射ヘッド、配管、継ぎ手	異常なし	破損、ひび、ゆるみ、漏れ、著しいサビ、汚れがある
ヘッドカバー	ついている	はずれている

● 1年ごとに下記の機器点検をおこなってください。

点検箇所	正常	異常
消火装置本体、感知器、電線、噴射ヘッド、配管、継ぎ手の詳細外観	異常なし	破損、ひび、ゆるみ、漏れ、著しいサビ、汚れがある
動作確認	すべての感知器の感知、押釦の操作に関して正常な機能、起動出力が行われる	正常でない
薬剤	規定量充てん 変質なし	薬剤なしまたは減少 変色、腐敗、沈殿物、汚れ、にごり、固着、などの変質がある
起動部	カッターが飛び出していない	カッターが飛び出している
加圧用ガス容器ガス量	規定量充てん	ガスなし、または減少 封板に傷がある
ヘッドカバー	容易に着脱する	着脱時動きが悪い(グリスアップしてください)

● 部品交換

起動部(ガス発生器付)は5年ごとに交換してください。

点検により部品が正常か異常か判定が出来ないときは交換してください。

アフターサービスについて

機器についてのご質問やご不明な点がございましたら、お求めの販売店または下記の弊社にお問い合わせください。

モリタ宮田工業株式会社
〒253-8588 神奈川県茅ヶ崎市下町屋1-1-1 TEL(0467)85-1210(お客様相談室)